

5分でわかる 高山市の景気動向調査

昨年度は管内の調査を行っていましたが、同様の調査が会員事業者様のところへ複数依頼されていること（調査への対応の負担が増えている）、また、当会会員からの抽出形式では対象数が少なく、調査目的に見合う結果がお届けできないことから、高山市にて実施されている「景気動向調査」を分かりやすくまとめなおし、お届けすることにしました。
なお、調査結果の原本については高山市役所ホームページからご覧頂くことができます。

令和7年第Ⅰ四半期（1月～3月期）分

高山西商工会
経営発達支援事業

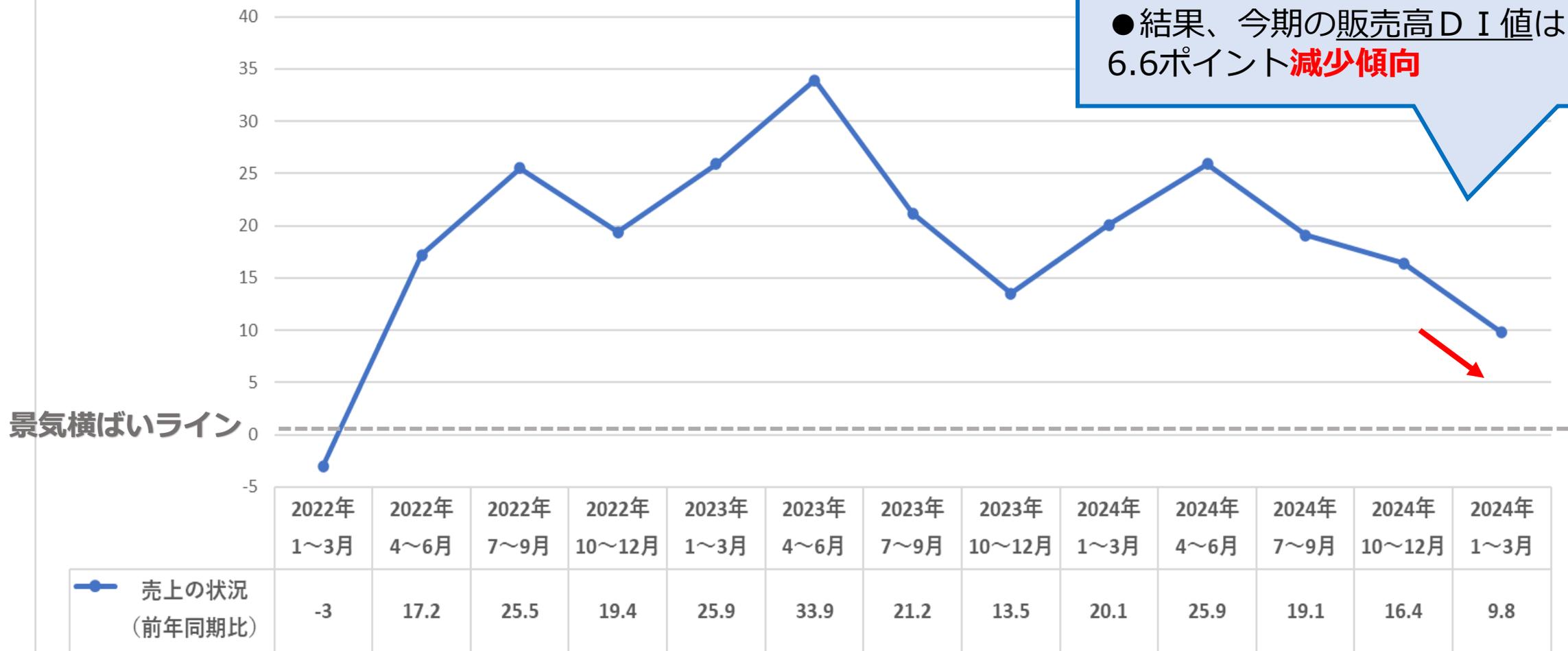
調査概要

- 調査目的：管内小規模事業者の景気動向等を収集・周知することで、地域経済の動向把握並びに将来予測、それらを踏まえた事業活動に役立てていただく。
- 調査対象：高山市内の500事業者（うち、有効回収数135事業者）
- 調査目的：【内訳】建設業：27（32.1%）、製造業：26（28.0%）、小売業：31（30.4%）、飲食業：14（17.7%）、旅館業：22（27.8%）、その他：15（23.8%）
- 調査時期：令和7年4月中旬
- 調査方法：調査対象を事業所統計調査のデータより無作為抽出（層化抽出）し、郵送の方法によるアンケート調査

① -1 販売（売上）の状況

- 販売高が前年同期と比較して「増加した」と回答した事業所の割合は5.0ポイント減少。
- 「減少した」と回答した事業所の割合は1.6%増加。
- 結果、今期の販売高D I 値は6.6ポイント**減少傾向**

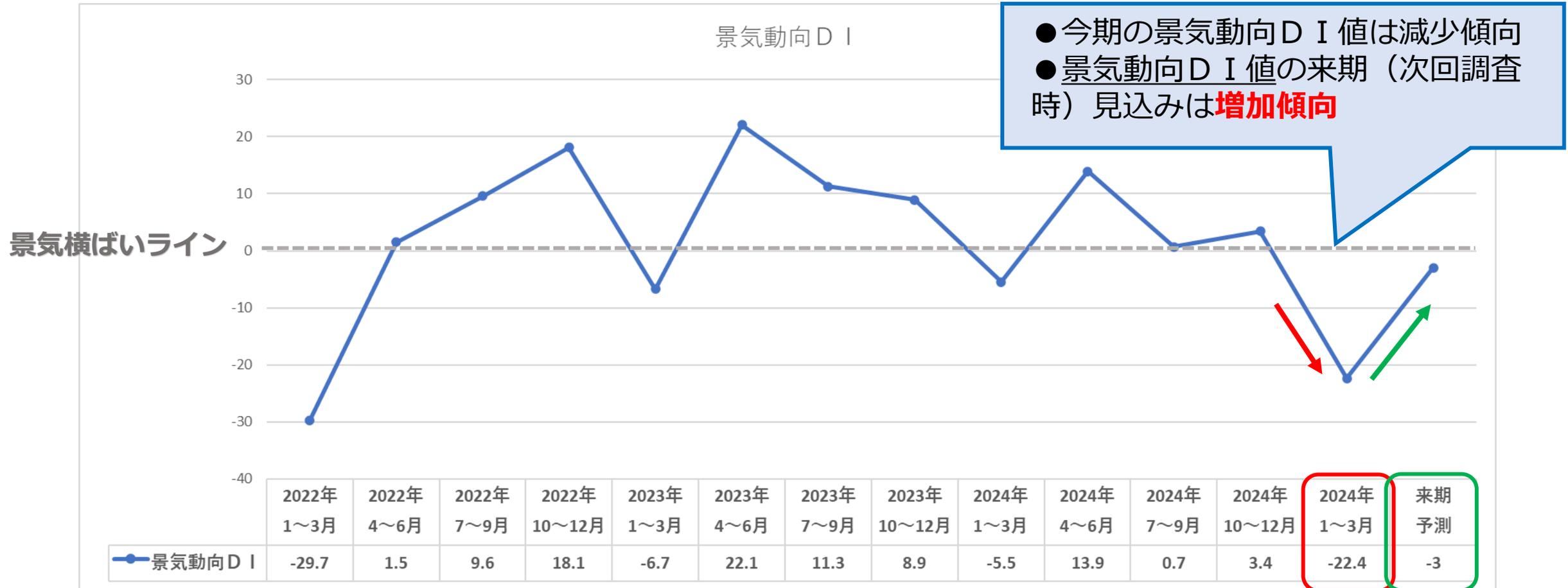
売上の状況（販売高D I 値：前年同期比）



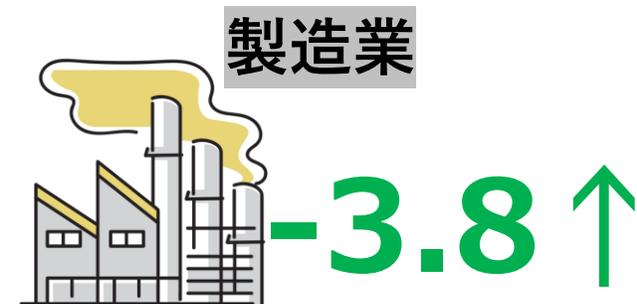
①-2売上高D I の前年同期比（業種ごと）



②-1 景気の動向（自社の景気）



②-2 景気動向D Iの来期見込み（業種ごと）

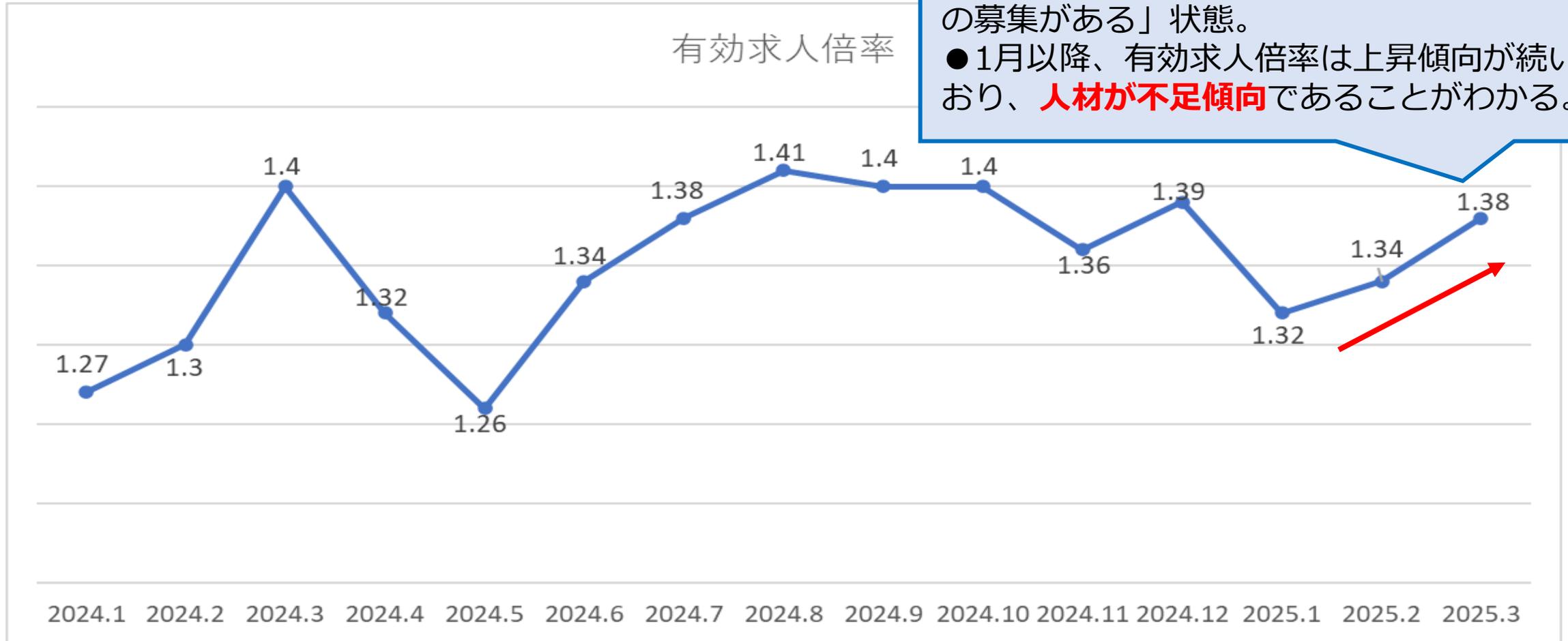


③-1 雇用の状況（飛騨管内の有効求人倍率の推移）

「有効求人倍率」とは1人の求職者に対して、どれだけの求人があるかを示す指標です。

有効求人倍率

- 3月時点では「1人の求職者に対して1.38人の募集がある」状態。
- 1月以降、有効求人倍率は上昇傾向が続いており、**人材が不足傾向**であることがわかる。



③-2 雇用の状況（来期予測）

建設・土木業

 **過剰企業・
不足企業とも
に増加**

飲食業



不足傾向

製造業



不足傾向

旅館業



不足傾向

卸売・小売業



不足傾向

その他



不足傾向

④ 設備投資の状況（前回調査時予測との比較）

- 今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は28.6%（前回+0.4ポイント）
- 向こう1年間において「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合は34.8%（前回+2.2ポイント）

建設・土木業



5.9%
下回る



飲食業

2.8%
下回る

製造業



19%
下回る

旅館業



0.8%
上回る

卸売・小売業



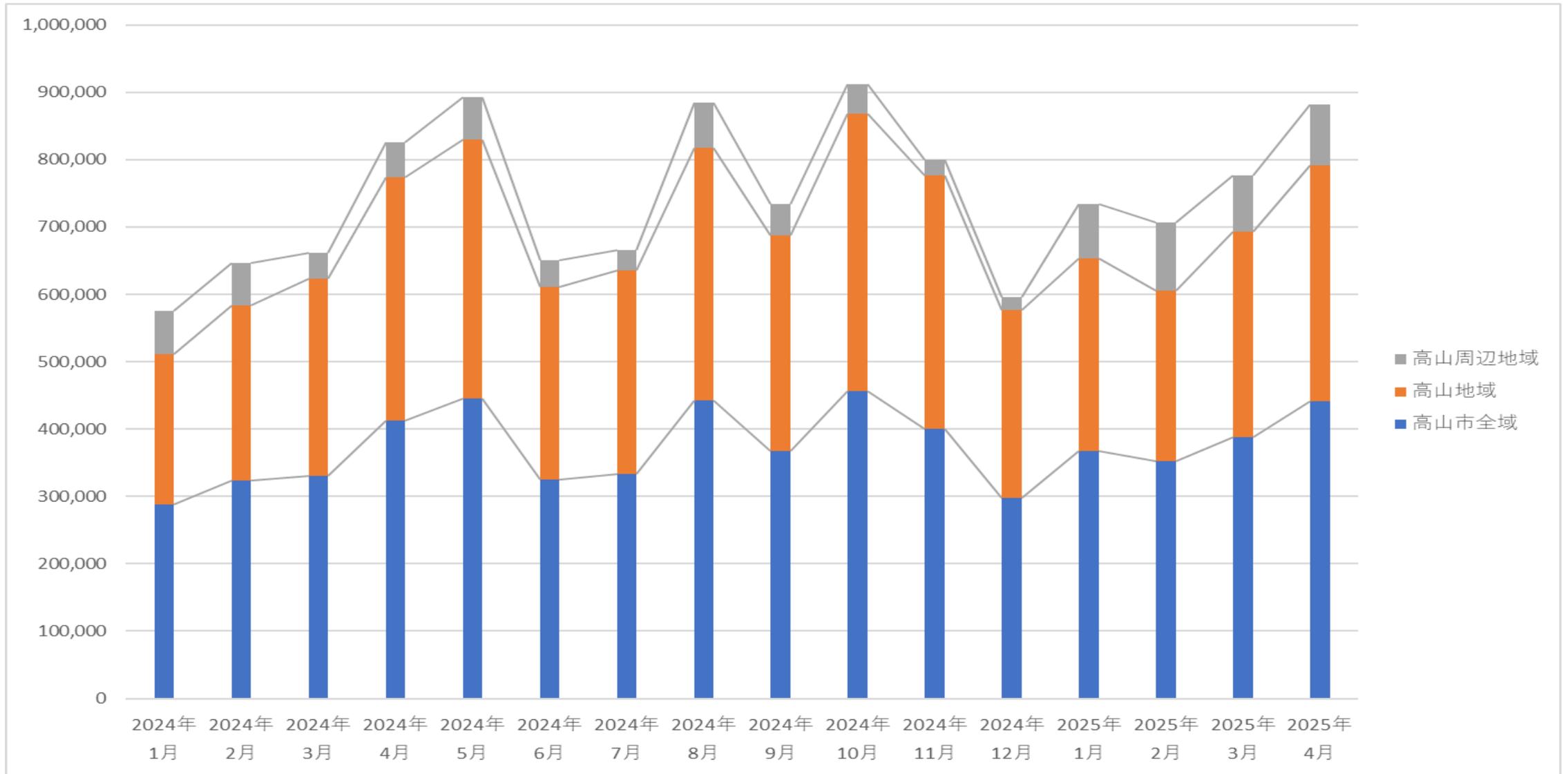
15.7%
上回る

その他

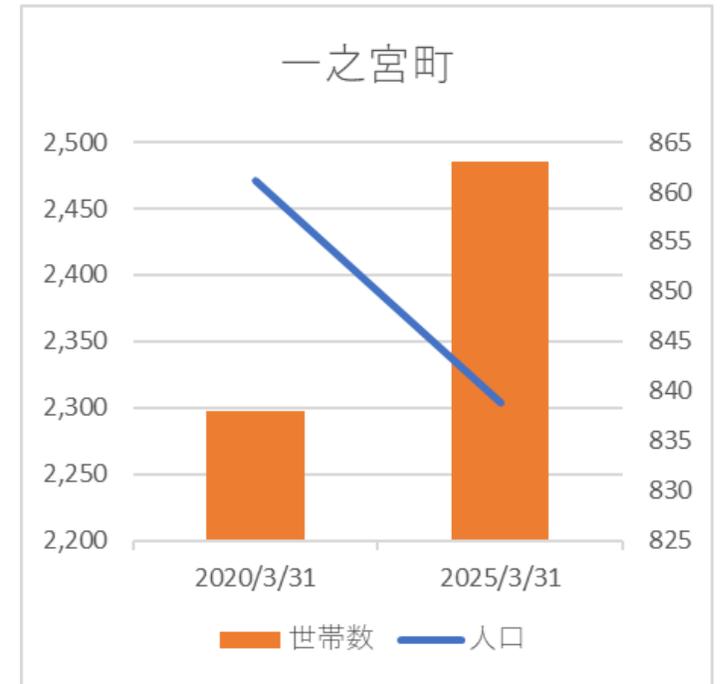
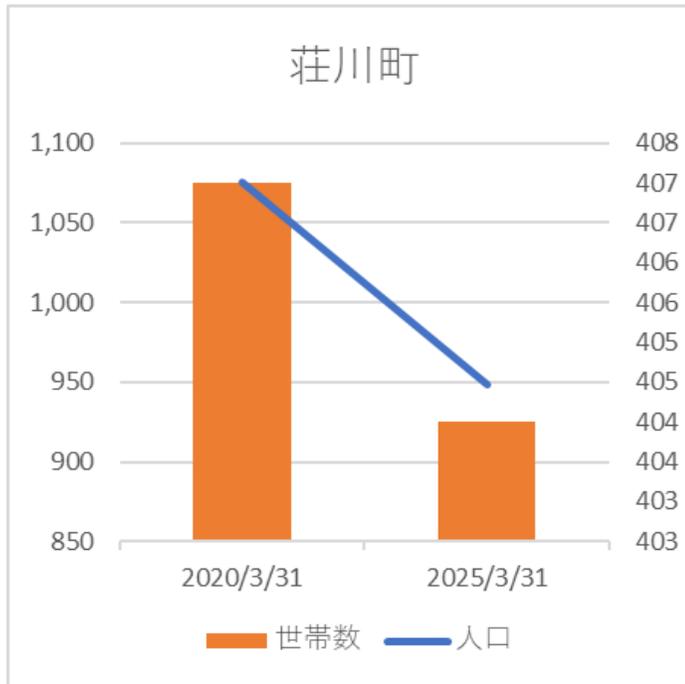
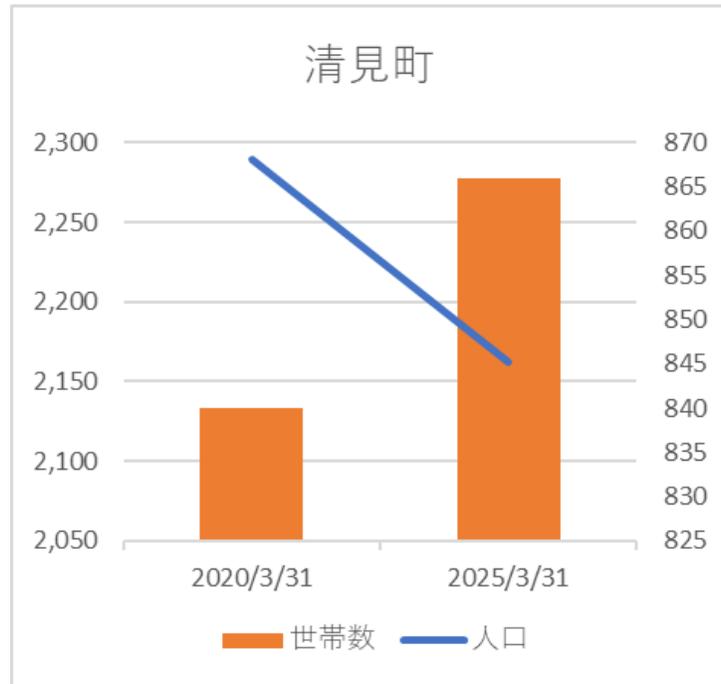


26.4%
上回る

⑤ 月別観光入れ込み数の推移



⑥地区ごとの人口の状況



○清見町・荘川町・一之宮町ともに人口は減少傾向。

○清見町・一之宮町については人口が減少している一方で、世帯数は増加傾向。